

宮城県感染症発生動向調査情報(第31週)

宮城県【平成25年08月08日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2013.7.29 - 8.4 - 第31週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所										仙台市			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	累計	第28週	第29週	第30週	第31週	
水痘	7 1.40	7 0.70	7 1.40	7 3.50	4 1.33	14 2.80	2 1.00	19 0.73	67 1.16	2,419	◎→	◎→	○→	○
流行性耳下腺炎		8 0.80	2 0.40		3 1.00	16 3.20	9 4.50	10 0.38	48 0.83	756	○→	レ→	○→	○
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	13 2.60	22 2.20	15 3.00	13 6.50	17 5.67	11 2.20	2 1.00	69 2.79	162 2.79	11,705	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	42 8.40	65 6.50	34 6.80	6 3.00	12 4.00	9 1.80	3 1.50	153 5.88	324 5.59	1,069	○→	◎→	◎→	◎
伝染性紅斑		5 0.50				1 0.20	5 2.50	7 0.27	18 0.31	402	→	→	→	
突発性発しん	5 1.00	8 0.80	6 1.20	1 0.50	2 0.67	6 1.20	3 1.50	16 0.62	47 0.81	1,137	○→	レ→	○→	○
ヘルパンギーナ	24 4.80	50 5.00	29 5.80	16 8.00	13 4.33	35 7.00	6 3.00	97 3.73	270 4.66	953	◎→	◎→	◎→	◎
インフルエンザ	1 0.13							1 0.01	15,676		→	→	→	
咽頭結膜熱		3 0.30	1 0.20					15 0.58	19 0.33	597	○→	レ→	→	
流行性角結膜炎								5 0.83	108		→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6 1.20	11 1.10	5 1.00	4 2.00	4 1.33	23 4.60	33 1.27	86 1.48	3,462	◎→	◎→	◎→	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎		3 3.00	3 3.00		1 1.00		3 3.00	5 1.00	15 1.25	608	レ→	→	→	
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症		12 1.20	1 0.20			9 1.80	30 1.15	52 0.90	374		→	→	→	○
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		11				9	1	：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 ：発生が少なくなっている傾向					
川崎病	1								【通報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansens-center/					
不明発疹症														

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群											総数 (人)
	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳~ (%)	
2013年 第29週	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
第30週	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
第31週	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第28週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第18週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(3.53)、宮崎県(0.29)、熊本県(0.24)が多い。**RSウイルス感染症**: 報告数は559例と第25週以降増加が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約79%を占めている。**咽頭結膜熱**: 定点当たり報告数は減少した。佐賀県(2.52)、北海道(1.53)、沖縄県(1.24)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は第25週以降減少が続いている。福井県(3.45)、大分県(3.14)、山形県(2.43)が多い。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。大分県(9.50)、宮崎県(7.67)、愛媛県(6.65)が多い。**水痘**: 定点当たり報告数は増加した。大分県(1.94)、和歌山県(1.48)、埼玉県(1.33)が多い。**手足口病**: 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。大分県(19.92)、山口県(17.15)、埼玉県(13.90)が多い。**伝染性紅斑**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。富山県(1.03)、愛知県(0.49)、新潟県(0.36)が多い。**ヘルパンギーナ**: 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。高知県(6.87)、熊本県(6.20)、徳島県(6.09)が多い。**流行性耳下腺炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。福井県(1.59)、山形県(0.83)、岩手県(0.73)が多い。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は第25週以降減少が続いている。青森県(2.50)、宮城県(1.58)、沖縄県(1.29)が多い。

インフルエンザ定点
インフルエンザ定
点は、内科定点と
小児科定点を合わ
せたもので、県全
体で93定点です。
宮城県:51定点
仙台市:42定点
合計:93定点

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 塩釜管内 女性1名
 - 大崎管内 男性1名、女性2名
 - 石巻管内 女性1名
 - 気仙沼管内 男性1名
 - 仙台管内 男性1名、女性1名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)
 - 塩釜管内 女性2名
 - 大崎管内 男性1名
 - 仙台管内 男性2名
 - 腸管出血性大腸菌感染症(O型不明)
 - 気仙沼管内 男性1名
- 4類感染症: つつが虫病
 - 仙台管内 男性1名
 - レジオネラ症
 - 塩釜管内 男性1名
 - 石巻管内 男性1名
 - 仙台管内 男性5名
- 5類感染症: アメーバ赤痢
 - 仙台管内 男性1名(第30週)
 - 後天性免疫不全症候群
 - 仙台管内 男性1名
 - 梅毒
 - 仙台管内 男性1名(第30週)、男性1名、*女児1名
 - 風しん
 - 石巻管内 男性1名(検査診断例)

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

- [流行性耳下腺炎] 気仙沼管内で警報継続中。
- [手足口病] 仙南管内で警報継続中。塩釜、大崎、仙台管内で警報値をこえた。
- [伝染性紅斑] 気仙沼管内で警報継続中。
- [ヘルパンギーナ] 栗原管内で警報継続中。石巻管内で警報値を超えた。
- [A群溶血性レンサ球菌咽頭炎] 石巻管内で警報継続中。
- [腸管出血性大腸菌感染症] 例年夏季に発生する腸管出血性大腸菌の患者報告数が増えているので注意が必要である。
- [RSウイルス感染症] 警報・注意報基準値は設定されていないが、今週患者報告数の増加がみられ、また仙台医療センターウイルスセンターでも分離数が増加している。
- [風しん] 今週あらたに1例の報告があり、2013年の累積報告数は98例となった。

【病原体検出情報】

～保健環境センター～

- ヘルパンギーナ患者より
 - 登米管内 第29週採取分 コクサッキーウイルス(A2型遺伝子) 1件
 - 第30週採取分 コクサッキーウイルス(A2型遺伝子) 2件
 - 石巻管内 第29週採取分 コクサッキーウイルス(A2型遺伝子) 1件
 - 第31週採取分 コクサッキーウイルス(A2型遺伝子) 1件

腸管出血性大腸菌感染症

塩釜管内のO157関連 第30週採取分 O157 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第29週採取分 (7.14~7.21)	第30週採取分 (7.22~7.28)	第31週採取分 (7.29~8.4)
パラインフルエンザウイルス1型	3件	0件	0件
RSウイルス	6件	5件	8件
アデノウイルス	1件	0件	1件
エンテロウイルス	2件	1件	0件